

事業区分 令和5年度 全国高校生体験活動顕彰制度

事業名 地域探究プログラム 九州・沖縄ブロック地方ステージ

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
[後援] 熊本県教育委員会
[期日] 令和5年12月25日(月)～12月26日(火)(1泊2日)
[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家
[参加者] 長崎県立北陽台高校 5名 鹿児島県立鹿児島中央高校 1名 私立樟南高校 1名
私立志学館高等部 1名 熊本県立阿蘇中央高校 20名
[評価委員] 二木 信輔 氏(岡山県立玉島商業高等学校 校長)
豊原 康德 氏(熊本県立教育センター 審議員兼副所長兼教科研修部長)
牛田 卓也 氏(国立阿蘇青少年交流の家 所長)
[担当職員] 阿蘇青少年交流の家 3名
[ボランティア] 2名

1. 趣旨

新学習指導要領に定められた「総合的な探究の時間」の目標等に基づいた研修会を実施するとともに、生徒が地域で行う探究活動を顕彰することで、生徒一人一人が社会の担い手となって、社会の成長につながる新たな価値を創造する人材になることを支援する。

2. 目標

- (1) 参加者8割が、事業全体に「満足」することができる。
- (2) 参加者8割が、プレゼン発表をしたり聞いたりし自身の学びに繋げることができる。
- (3) 出場者の発表を評価・審査し、全国ステージに出場するグループを選出する。

3. 事業展開

(1) 研修プログラム

1日目 12月25日(月)		2日目 12月26日(火)	
13:30～14:00	入所式	7:30～ 8:15	朝食
14:00～15:00	シーツ、カギの配付、部屋移動	9:30～ 10:00	開会式
15:00～17:20	発表練習・リハーサル	10:00～12:20	プレゼン発表
17:45～18:30	夕食	12:30～13:15	昼食
18:45～19:30	入浴	13:30～14:30	グループワーク
20:00～22:00	練習・自由時間	14:30～15:30	審査結果発表・閉会式
22:30	就寝	15:30	解散

(2) 活動の様子



【プレゼン発表】



【表彰式】



【講評】



【集合写真】

4. 評価、成果と課題

(1) 評価

① 参加者の満足度

設 問	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
地方ステージに対する満足度	回答数 (人)	14	14	0	0
	割合 (%)	50.0	50.0	0.0	0.0
プレゼン発表をしたり聞いたりし、自身の学びに繋げることはできましたか。	回答数 (人)	24	4	0	0
	割合 (%)	85.7	14.3	0.0	0.0

② 参加者の声

- ・ 良い経験になり様々な人と交流できる機会になった。
- ・ 全体を通して今後の進路などにも活用していき、自分の未来について活かそうと思った。

(2) 成果

- 参加者の8割以上が「プレゼン発表をしたり聞いたりし自身の学びに繋げることができた」と回答した。「他の班の発表、質疑応答を聞いて自分の班の活動をもって深められると思った。」等の記述があり、自身の探究活動を振り返る良い機会になった。
- 他県からの参加者の感想に「他県の生徒との交流が楽しかったし、学ぶことがたくさんあった」、「他校の発表を聴くことで、意識も新たに芽生えた」等の記述があった。集合開催での交流をとおして、参加者がお互いに学び合ったり、協働して取り組むことができたりした。

(3) 課題

- 阿蘇の代表グループは、2日目のみの参加であったため、他校との交流があまりできなかったこともあり、地方ステージに対する満足度が低かったと考える。学校型でなく個人型での参加であると2日間の参加が可能となり、他の参加者との交流も深まり満足度も高まると考える。
- 評価委員の講評にもあったが、多くの参加グループが実践活動から新たな課題を見つけているので、その課題を解決するための実践活動を行うと、探究活動がさらに深まる。そのためにも、参加者及び高校との連携の在り方を再度熟考し、参加者の探究活動を支援できるようにする必要がある。